

2016年10月17日

株式会社リナイス

代表取締役 中野英春

製品規格書改定のお知らせ

株式会社リナイス（本社：北海道札幌市、代表取締役：中野英春、鳴海正樹）は、プロテオグリカンの定量化技術を確立（特許申請準備中）したことにより、食品原料「SCP コンプレックス-LS」および「プロテオグリカン-LS」の製品規格書を改訂いたしましたのでお知らせいたします。

【改定点】

成分名：プロテオグリカン → 非変性プロテオグリカン に変更

非変性プロテオグリカンの純度試験方法：

カルバゾール硫酸法 → HPLC 法／ガランボス法 に変更

【改定理由】

プロテオグリカンの HPLC 法（標準試薬：コスモ・バイオ社製）での定量方法が確立し、分子量と同時に含有量も測定可能となったため。現在、主に HPLC 法で定量し、ガランボス法（カルバゾール硫酸法の改良法）で確認分析を行っております。

また、分子量を規定することにより、プロテオグリカンを非変性プロテオグリカンに限定して規格化することにいたしました。

近年、プロテオグリカンの定義の曖昧さから、コンドロイチンをプロテオグリカンとして表示するだけでなく、プロテオグリカン原料に鮭コンドロイチン原料を添加し、カルバゾール硫酸法での分析上、プロテオグリカンの含有量を高用量に見せるような悪質な商品も出始めてしまいました。その対策として、定量方法の変更を行っております。現在、弊社では商品から非変性プロテオグリカンだけを定量する分析技術を確立し、公的な機関でも分析ができるように進めております。

最新の製品規格書に関しましては各販売代理店様経由で順次変更させていただいております。

今後、プロテオグリカン市場の適正化のためにも、非変性プロテオグリカンとして、差別化を図ってまいりたいと考えております。引き続き、本原料のご愛顧の程、何卒よろしくご厚意申し上げます。